



10月1日～12月18日

三重大大学ミュージアム構想  
特別企画「忍者を科学する！」

2015年4月～7月末に文部科学省情報ひろばで好評を博した企画展示「忍者を科学する！」を、三重大学内の登録有形文化財「レモンドホール」にて再度公開しました。



10月3日

第15回地域が応援する  
キャリアアップセミナー

「里山における環境学習と国際交流」をテーマに、中学生、高校生、大学生の計79人が基調講演や交流学習「環境テレビ会議」、フィールドワークに参加しました。



10月10日

保護者様向け「就職活動」  
についての説明会

保護者（全学部3年次生、修士1年次生対象）および学生に向けての就職説明会と学部別説明会が行われ約680人の参加がありました。



10月18日

留学生が2015津市国際交流デー  
「国際屋台村」に出展

お城西公園において、本学の中国、インドネシア、ベトナムの留学生がそれぞれの国の伝統料理を振舞い、多くの方々で賑わいました。



10月21日

人文学部×ドイツ・ライプチヒ大学  
国際シンポジウム「教員養成の日独比較」

日・独それぞれの教員養成制度や高大連携を比較することで、人文学部文化学科での教育専門職人材養成の将来像や地域で期待される中等教育教員像についてディスカッションが行われました。



11月1日

三重大学地域貢献活動支援事業  
「第4回ニシキッズのびのび親子料理教室」

廃校となった錦生小学校の有効活用と地域づくりを目的に、名張市地縁法人錦生自治協議会と共同で本教室を開催し、名張の伝統的な家庭料理である「のっぺい汁」をつくりました。



11月4日

平成27年度  
第1回三重大学地震防災訓練

南海トラフ巨大地震発生を想定し、津波避難行動訓練、災害対策本部設置訓練、物資配分訓練、初期消火訓練、エレベーター内閉じ込め者救出訓練を実施しました。



11月9日～11日

教育学部附属特別支援学校の  
生徒7人が校外実習

職業教育の一環として、職場での基本的なマナーやルール、仕事に対する責任感や意識を養うことを目的に、本学講堂の清掃、正門に飾られるプランターの植え替え、事務局周辺の清掃を行いました。



11月14日・15日

第13回青少年のための科学の祭典2015

子どもたちに科学の魅力を体験してもらうことを目的に、36つのブース出展が行われました。同時開催の「第9回サイエンス on ステージ」（中部電力と共催）では8つのサイエンスショーが行われ、延べ3,686人の参加がありました。



11月21日・22日

第67回三重大学祭  
「津COME～青春の67騒ぎ～」

各クラブ・サークルによるステージや100を超える模擬店、手作りの水族館、学術研究発表会などが行われました。両日も天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



11月28日

AQUA SOCIAL FES!! 2015 in 松名瀬

松名瀬干潟・海水浴場において、清掃活動を行いました。その後、環境ISO学生委員会主導で海岸に生息する植物の調査など、生物多様性について学ぶ環境学習を開催しました。



12月5日

伊賀連携フィールド  
「忍者・忍術学講座 in Tokyo」

人文学部の山田雄司教授による「忍者の身体」と題した講演、古武術研究者である甲野善紀 松聲館館長による「古武術に学ぶ身体の使い方」と題した実演が行われ、実演では少しの身体の使い方の違いが大きな違いをもたらすことが示されました。



12月7日

三重大学男女共同参画フォーラム  
「オール三重で取り組む男女共同参画」

三重大学及び三重県の男女共同参画に関する現状を知り、男女共同参画の先進的取り組みについて考えることを目的に、講演およびパネルディスカッション、会場の参加者との意見交換が行われました。



12月15日

林家菊丸 社会連携特任教授就任  
特別落語・講演会

2015年9月1日付で、本学社会連携特任教授に就任した林家菊丸師匠による特別落語および初回講演が行われ、学生・教職員や一般の方など135人が参加しました。様々な落語家の出陣を観客席の指名に応じて即興で実演するたび、大きな拍手が起こりました。



12月16日

第12回三重大学サイエンスカフェ

「第2の地球は、本当に存在するのか?～手がかり探しの秘密兵器は!?～」と題して天文学を専門とする教育学部の伊藤信成教授から惑星の見つけ方や天体の正体をつかむ方法など、研究内容の紹介がありました。



12月18日

附属幼稚園にサンタさんが訪れました

サンタに扮した駒田学長が約140人の園児へプレゼントを贈り、園児からの歌のプレゼントがあった後、お遊戯を一緒に楽しみました。



気になるEXTRA

附属小学校でプログラミング教育を実践

ICT（通信技術）教育を充実させるための取り組みの1つとして、ロボットを動かすソフトが入った約30台のパソコンを使用したプログラミング教育を行っています。

